

「あのさあ、エリカ。私たち、あの子に対してやり過ぎなんじゃない？あの子、何にも悪いことしてないのに」

と言った。

「ふっ、あの子、いつも下ばかり見てるし、何にも話さないじゃない。変だと思わない？そういう人って、イジメられる<sup>うんめい</sup>運命なんだよ！」

エリカは話すのをやめなかった。

「セレナにも良い所があると思うよ。セレナに優しくして友達になってみたら」

少女はエリカの話さえぎった。

「冗談<sup>じょうだん</sup>じゃない！あいつとは相性<sup>あいしょう</sup>悪いんだ

